

令和6年度事業報告書		事業所名	やすらぎの家		作成者	立石 裕子	作成日	R6.3.31
目標	本年テーマ	(計画) 個々にあった支援を提供し、ご利用者様・職員共に楽しく穏やかな時間を過ごす (評価) 少しずつ意識出来ている。今後も日々コミュニケーションを大切にして、何を望んで、何に居心地の良さを感 じている						
基本 処 遇 及 び 運 営	■令和6年度処遇及び運営方針に対しての評価							
	(計画) ① 個別支援の強化							
	② (ご利用者様) 穏やかな居心地の良い「場所」の提供							
	③ (職員) 楽しく遣り甲斐のある「職場」を作り、モチベーションの維持を図る。							
	④ チームで支援できる様、職員同士の連携を強化する。							
	(評価) ①④特別な配慮が必要なご利用者様に対しては、職員同士の声かけや細やかな記録等で情報共有出来、 個別支援・細やかな支援が出来ていたと思います。半面、それ以外のご利用者様には見守り・継続等が 多くなり、日中もう少し個別支援が出来たのではと思う所もあります。大きな事ではなく、日々小さな事、 僅かな時間の個別支援を心掛けれたらと思います。 ②③まずは職員が笑顔で心に余裕がないと、 ご利用者様へ良い支援や居心地の良い場所は提供出来ないと思います。 職員間で少しストレス を感じている事もあった様ですが、それでも全体的に笑い声の多い事業所だと思います。							
研 修 ・ セ ミ ナ ー	■職員研修計画と実績							
		研修 名称	参加実績	研修 名称	参加実績			
		岡山県小規模連絡会	施設見学会等の案内を頂きましたが、人員の関係もあり参加できませんでした。	倉敷市小規模連絡会	立石・川上参加。情報交換をはじめ、加算・実地指導等々良い勉強になりました。			
		ケアマネ更新研修	声掛けしていましたが、ご本人の希望により受講しておりません。	認知症介護リーダー研修	川上受講。 12月より認知症加算が増額となりました。今後も定期的に勉強会を行っていきます。			
		上記以外の法定研修については、毎年全職員に受けてもらっています。基本は同じ事の繰り返しになる事も多いですが、忘れてしまう 事もあります。繰り返し学ぶことで知識も少しずつ定着し、またより意識できていると思います。						
会 議 ・ 委 員 会 ・ 内 部 研 修	■会議・委員会計画実績・効果							
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果			
		事故予防委員会	毎月の事故・ヒヤリについてのその後の経過等を確認。又8月介護り誤嚥監視義務違反の勉強会を行った。	ブランディング委員会	キャラクターの応募や投票等を通し、職員・ご利用者様・ご家族・来客者等楽しく参加出来良い宣伝になったと思う。			
		感染症委員会	毎月振り返り、注意点を話し合う。新感染症発生時の準備物、防護服の着法。インフルエンザの勉強会を行った。	相談員会議	施設部門:各相談員と一緒に営業に回る事により一体感を感じられ、また他施設の事がより理解できた様子。			
		身体拘束・虐待防止委員会	今年度から職員講師による勉強会実施。不適切ケアが虐待になる事やチェックリスト等で現状把握をしていく。	給食委員会	事業所やご利用者様からの要望を伝える。追加・キャンセルの時間等、より柔軟に対応してくれる様になってきた。			
		安全衛生委員会	11月の栄養教室3名・運動教室4名参加。	経費削減委員会	不定期で開催。電気をこまめに消す事は定期的に伝える必要有。			

防 災 ・ 災 害	■災害訓練計画・実績				
		訓練予定月	実施月	訓 練 目 的	訓練評価
		6月・11月	6月11月	日中と夜間の火災避難訓練	夜間は職員が一人になる為、避難訓練の担当は主にローテ職員がしているが、短時間職員も含め全職員に、火災報知機の止め方やセムの対応等を周知しておく事が必要。
		5月・10月	5月・10月	BCP訓練(感染症・自然災害)	自家発電機を使う際に、送迎車両からガソリンを抜く事が出来なかったので、別の方法を考える必要がある事が分かった。継続して順次、発電機の使い方をお伝えしていく。
行 事 ・ イ ベ ン ト	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)				
	月 度	「否定的な事を言わずとりあえずやってみる。チームで柔軟に対応していき、小規模の役割を果たす。」			
	4 月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止(職員講師による勉強会)			
		お花見			
	5 月	小規模の役割・2024年度介護報酬・加算等の変更点(職員講師による勉強会)			
		節句会			
	6 月	感染症・食中毒防止(職員講師による勉強会)			
		外出行事			
	7 月	事故予防・緊急時			
		創設月記念祭			
	8 月	認知症			
		夏祭り・夕涼み会			
	9 月	人権			
		敬老会			
	10月	感染症対策研修			
		運動会			
	11月	内部評価			
		外出行事			
	12月	事業所評価			
		クリスマス会			
	1 月	法令遵守			
		新年会			
	2 月	本人が受けた研修			
		節分会			
	3 月	事業所が受けて欲しい研修			
		雛祭会			
(総評)					
・ 行事に関しては計画通り、内部研修も2月、3月分が出来なかったものの、ほぼ計画通りに遂行できました。 ・ 今年度のテーマを達成する為にも、法人理念でもある「利用者様にとって居心地の良い環境とはどんな環境か?」、「職員にとって居心地の良い職場とはどんな職場か?」又「気持ちの良い挨拶とはどんな挨拶か?」その他「やすらぎの強み、ウリ」等について各自書いてもらう等して、意識出来るような働きかけを行いました。ほんの少しずつですが、適切な言葉遣いや気持ちの良い挨拶も意識し、改善出来てきていると思います。引き続き、みんなが働きやすい職場をみんなが意識し、みんなで作っていく。 ・ 個別支援も少しずつ形になっているとは思いますが、まだまだ出来る余地はあると思います。今後も何を望んでいるのかしっかり聞き取り、欲張らず「小さな事」を叶えていく。 ・ 今年度、1名個展を開催。自身の得意な物を披露する事が出来、ご本人にもご家族にも喜ばれ、他ご利用者様からは羨ましがられました。今後も1名ずつ主人公になって頂ける様に、引き続き実施して行く様に計画しています。 ・ 「否定的な事を言わずとりあえずやってみる。」の目標に関しては、一部職員は「とりあえず最初否定的な事を言うが、想像以上にやり抜く」感じです。言葉に出し聞いてもらう事で感情をコントロールしたり、他職員に鼓舞してもらい頑張る所がある。お互い性格も熟知しており、お互いにこうまく働きかけが出来ていると思います。 ・ 数値目標に関しては、初の登録者数24名を11月から約5か月間継続する事が出来ました。しかも1月からは退職により職員が減り、怪我の職員は業務限定となり、その上約2週間の休職の職員と本当に手薄な中、協力し合って達成出来自信にもつながったと思います。ただ、業務をこなす事で精一杯でご利用者様には十分な環境は提供できていなかったと思います。折角やすらぎを選んで下さっているご利用者様に、居心地が良く穏やかな日々が過ごせるように今後も努めていく。					